

2. 家族のリスクへの対処は、人に頼らず預貯金頼み

2 - 1 「この1年に、家族が退職や失業を経験した」という回答の比率が上昇

本パネル調査では、対象者やその家族に過去1年間に起こった出来事についてたずねる質問項目を設けている。

図表2 - 1は、有配偶女性を対象に、過去1年間に本人以外の家族に何らかの特別な出来事が起こったかどうかの調査結果である。ここで注目されるのは、この1年に家族が「希望退職や失業」を経験したという回答が、過去の調査に比べて高くなっていることである（1994年（パネル2）3.4% 1997年（パネル5）4.4% 2001年（パネル9）6.1%）。今年の調査結果では、それまで最も比率が高かった「手術や重い病気」を上回るまでになっている。経済の停滞が続く中、企業の雇用調整の影響が家族に及んできていることがうかがえる。

図表2 - 1 過去1年間に本人以外の家族に起こった出来事

過去1年間の出来事	1994年 (パネル2)	1997年 (パネル5)	2001年 (パネル9)
特別な出来事があった			
転勤や単身赴任	3.2	2.7	3.7
希望退職や失業	3.4	4.4	6.1
倒産、破産	0.5	0.2	1.0
手術や長期の療養が必要な重い病気	5.5	5.2	5.4
うつ状態など精神的な問題や登校拒否	0.9	0.9	1.6
ローンやクレジットなどを含めた消費者トラブル	1.1	0.4	1.1
事故や災害にあった	3.3	3.6	1.8
その他特別な出来事があった	2.5	3.3	3.9
特別な出来事はなかった	82.0	81.2	78.1

注：分析対象は有配偶女性。ただし、無回答者を除く。選択肢は複数回答可、そのため合計は100%にならない。

2 - 2 家族に特別な出来事が起こったら、人に頼るよりもまず預貯金に頼る 親戚 や知人には相談はしても、経済的には頼らない

では、特別な出来事が起こったときに、いったい何に頼ろうとするのだろうか。

図表 2 - 2 は、過去 1 年間に本人以外の家族に何らかの特別な出来事が起こった人を対象に、その出来事にどのような対処をしたのかを調べた結果である。何らかの対処をしたと回答した人の中で、最も比率が高いのは、一貫して「預貯金の取り崩し」であった（1994 年（パネル 2）23.2% 1997 年（パネル 5）35.9% 2001 年（パネル 9）28.9%）。二番目に多い対処法は、これも一貫して「親きょうだいに相談」である（1994 年 21.4% 1997 年 23.4% 2001 年 21.8%）である。三番目は変動があるが、直近の二回の結果では、「友人に相談」となっている（1997 年 10.8% 2001 年 12.2%）。これは、この二回の結果に限れば、「親きょうだいからの経済的援助」や「親戚、知人からの借金」を上回っている。

つまり、家族に特別な出来事が起こったとき、最も主要な対処方法は、「貯蓄の取り崩し」である。これは、いわばその「家族自身」に頼ろうとしているといえることができるだろう。これに対して、親戚や友人・知人は、頼る相手としては重要な存在であるが、あくまでも相談相手としてであって、経済的にはそれほど頼っていないことがわかる。「精神的支援」だけを期待しているのであって、それ以上は望んでいないことの表れかもしれない。経済的には預貯金頼りであり、家計の金融資産に占める預貯金の割合が高いことと呼応しているといえる。

図表 2 - 2 過去 1 年間の出来事への対処法

対処法	1994 年	1997 年	2001 年	対処方法の分類	
	(パネル 2)	(パネル 5)	(パネル 9)	頼る手段は	誰に頼るか
何かをした					
預貯金の取り崩し	23.2	35.9	28.9	貯蓄取り崩し	自分
資産売却	0.6	1.8	1.0	貯蓄取り崩し	自分
親きょうだいからの経済的援助	10.1	6.0	10.2	経済的援助	親戚
親戚、知人から借金	0.6	2.4	1.0	借り入れ	親戚・友人
金融機関から借金	6.5	6.6	8.1	借り入れ	市場
公的機関から資金借り	1.2	4.2	0.5	借り入れ	政府
民間保険解約	3.0	2.4	5.1	貯蓄取り崩し	自分
民間保険給付	8.3	10.2	10.2	保険	市場
社会保険給付請求	7.7	5.4	9.5	保険	政府
公的・専門機関へ相談	3.0	3.6	5.6	相談	専門家
親きょうだいに相談	21.4	23.4	21.8	相談	親戚
友人に相談	8.9	10.8	12.2	相談	友人
宗教者に相談	2.4	0.0	0.5	相談	専門家
その他	3.0	1.8	6.1		
何もしていない	38.7	32.9	33.0		
合計	138.7	147.3	153.8		
標本数	168	167	197		

注：過去 1 年間に本人以外の家族がなんらかの出来事を経験した有配偶女性回答者のうち、各々の対処法が標本数に占める割合を示す（複数回答可）。ただし、無回答を除く。

2. 家族のリスクへの対処は、人に頼らず預貯金頼み